



もせうし小だより



妹背牛町立妹背牛小学校 学校だより 令和7年2月26日 発行No.12

発行：戸澤 法史 文責：渋谷 憲一

3年生の作品
「かっこいいライオン」

「あいさつ」ってなぜするの？

校長 戸澤法史

毎朝、玄関に立って子どもたちとあいさつを交わしています。多くの子が、元気よくあいさつをしてくれます。中には、なかなか声を発することができない子や小さな声であいさつする子もいます。その時ふっと「子どもたちは、あいさつをどうとらえているのかな」と気になりました。そこで、2月の全校朝会において「あいさつの大切さ」について話しました。

まず、あいさつは漢字で「挨拶」と書きます。意味を調べてみると「挨」は「開く」、「拶」は「近づく」という意味があるそうです。直訳すると「開いて近づく」となるでしょうか。しかし、それだと物足りないので、「心を開いて、相手の心に近づく」という意味にすればしっくりきそうです。つまり、「自分は、あなたの敵ではないですよ。味方ですよ。どうぞ安心してください」とでも言っているようです。

次に、あいさつを交わすことでどんな良いことがあるのでしょうか？

- ① **仲良くなるきっかけづくり**～特に初対面の人とスムーズな関係性が築け、場合によってはそこから話が弾む場合もあります。
- ② **相手に良い印象を与える**～特に、あいさつができる・できないで第一印象がガラッと変わります。あいさつがしっかりできる人は、好感度も上がります。
- ③ **緊張をほぐすことができる**～緊張している場面で、相手からにこやかにあいさつをされると少し緊張がほぐれます。

おそらく、もっと良いことがあります。

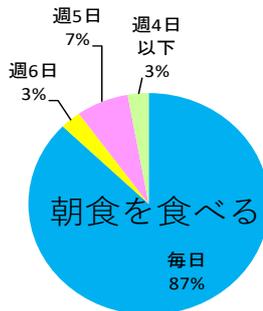
しかし、ただあいさつをすれば良いというわけではなく、気持ちの良いあいさつを交わすことが大切です。では、気持ちの良いあいさつをするためのコツです。

- ① **笑顔**～これはどんな場合でも大切です。眉間にしわを寄せてあいさつをされても気持ちの良いものではありません。
- ② **相手の目を見る**～目を見てニコッとあいさつされるとうれしい気持ちになります。
- ③ **声の大きさ**～怒ったような声だと萎縮してしまいます。

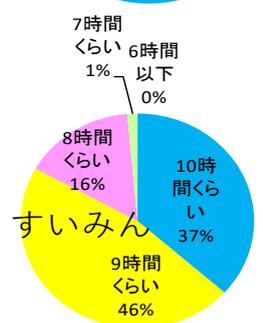
私たちは、人との関わりの中で生きています。その関わりが始まりが「あいさつ」だと思います。子どもたちに「朝、教室へ入るときに「おはよう」と言って入っていますか」と尋ねたところ、ほとんどの子が言っているそうです。すばらしいことです。これからも先生や友だちだけではなく、近所の人や家族同士でも行ってほしいと思いました。そして大人も含めて、誰に対しても気持ちの良いあいさつを心がけたいですね。

生活リズムチェックシートの集計結果について

冬休み明けの1月20日(月)から26日(日)までの1週間、生活リズムチェックシートの取組を行いました。シートのコメント欄を見ても、ご家庭からのあたたかい励ましの言葉ばかりでした。期間中のご協力、ありがとうございました。



毎日朝食を食べている児童が87%であり、前回8月の時と同様に**約1割の子が朝食の習慣が確立されていません**。朝食は脳にエネルギーを与え、学習に集中するために必要不可欠です。また、排便や体温の安定など、体調管理にも欠かせません。朝食を必ず食べてから登校する習慣が定着・継続するよう、ご家庭でのご協力をお願い致します。



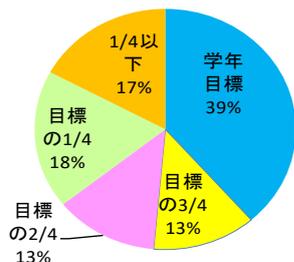
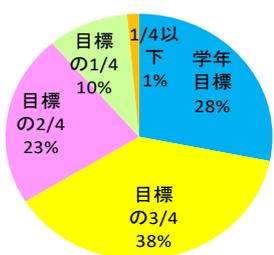
8時間以上の睡眠を取っている児童がほとんどですが、**全体的に就寝時間が遅くなっており、特に高学年では十分な睡眠が確保できているか心配な児童も増えています**。就寝時間が遅くなると、決まった時間に起きられない、朝食を食べられないということにも関連します。成長期においては、睡眠時間は、身体の成長にも影響を及ぼします。ご家庭でも規則的な生活リズムの大切さをお子さんとご確認ください。



前回8月と同様に**「お手伝いをしている」という回答が減少傾向にあります**。もしかしたら、自分がしていることを「お手伝い」と思っていない子もいるかもしれません。お子さんがしていることを振り返りつつ、自分が家族の一員としてどのように過ごすか話し合う場を設けてみてください。

平日の家庭学習

休日の家庭学習



学年目標時間に達している児童の割合は、3～4割ですが、あと少しで達成できる児童が増えています。学校とPTAが連携し、家庭学習の大切さを呼びかけてきた成果として、家庭学習の必要性については、多くの児童に浸透してきました。今後も、学校と家庭が連携・継続した取組が重要です。

今年度最後の家庭学習強調週間を振り返って

2月12日(水)～18日(火)は、今年度最後の家庭学習強調週間でした。これまで同様に家庭学習の内容や時間、メディアと接する時間…等々、子ども自らが目標を立て取り組みました。また、町P連の取組として、中学生にアンケートを取り、その結果を事前資料として配付・掲示し、家庭学習の必要性を確認することもできました。

目標時間以上、勉強をしたと回答した割合…48.5%(前回52.1%)

メディアと接する目標の平均時間…約88分(前回81分)

目標時間達成率は、前回より若干低下していますが、期間中はふだんより多くの時間を自ら学習に向かうことができているようです。メディアと接する時間が増加している傾向がありますので、今後も規則的かつ健康的な生活習慣の大切さについて学校でも指導を続けていきます。ご家庭でもお子さんと確認し合う場をもつようお願い致します。

新年度からの放課後学習について

これまで月1～3回、3年生以上を対象に放課後学習教室を実施してきましたが、以下の理由から新年度以降は継続しないことになりました。

① 新年度から町主催の公設学習塾が設置されるため

公設学習塾の開始時期は未定です。今後、詳細が決まり次第お知らせします。

② 放課後学習教室の指導職員の人員確保が困難なため

これまで教育委員会職員や支援職員が指導を担当していましたが、人員確保が厳しい状況となりました。

新年度からは町主催の公設学習塾において、放課後も子ども自ら学習する意欲・習慣を向上させる活動を続けていきます。ご家庭におかれましても、ご理解をお願い致します。

妹背牛町土木技士会の方々に除排雪・雪庇落としをしていただきました

2月13日(木)に、妹背牛町土木技士会の方々に、毎年恒例となっている小学校の雪庇落とし、グラウンド自転車置き場の屋根の雪下ろし等のボランティア作業をしていただきました。

今年は例年より積雪量が多く、学校も毎日の除雪に苦慮していましたので、大変助かりました。作業をしていただいた方々には、あらためまして深く感謝申し上げます。



同窓会入会式を行いました



2月25(火)は、同窓会会長である佐田恵治様をお招きし、6年生の同窓会入会式を行いました。佐田会長からは、過去の小学校や町がどんな様子だったのか等のお話や励ましのお言葉をいただきました。

6年生一人ひとりも卒業後の目標に向けての決意を発表しました。また、タイムカプセルにそれぞれ思いの詰まった記念の品々を納めました。

8年後の「20歳を祝う会」には、成長した卒業生達が再会し、思い出の品々を観て語り合うために、タイムカプセルは小学校で大切に保管します。

卒業式は3月19日(水)です

3月19日(水)は、第54回卒業証書授与式です。10名の卒業生が小学校を卒業し、新しい未来へ旅立ちます。ご家族におかれましても、ご出席のほど、よろしくお願い致します。

～8:50 児童登校

8:50～ 9:00 5年生が卒業生全員に胸花をつけます

9:00～ 9:20 卒業生・保護者の皆様・担任団による集合写真

9:30～10:15 卒業式

10:45～10:55 見送り 玄関ホールにて

11:00～ 在校生・卒業生下校



保護者の方は、来校後、体育館保護者席にてお待ちください。

